



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成28年(2016年)
5月23日
月曜日
第172号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

「有徳の人」づくり大綱

社会総がかりの教育の実現に向けて



静岡県知事 川勝平太

知は高く
情は深く
意は強く
心を磨き
身を鍛ふべし

静岡県の目標は「富国
徳の理想郷」ふじのくにに
づくりです。原点は日本の
シンボル・富士山です。ふ
じのくにとは静岡県の自
称ですが、日本のことでも
あり、日本のための国づく
りでもあります。国づくり
の基礎は、一にも二にも、人
材です。

静岡県の目標は「富国
徳の理想郷」ふじのくにに
づくりです。原点は日本の
シンボル・富士山です。ふ
じのくにとは静岡県の自
称ですが、日本のことでも
あり、日本のための国づく
りでもあります。国づくり
の基礎は、一にも二にも、人
材です。

県では、県の教育の目標や
施策の基本方針を、県民の
皆さまに分かりやすく伝え
るため、平成28年2月にこの
大綱を策定しました。今回は
その内容を「紹介」します。



「ふじのくに」における教育の基本理念を全ての県民が共有し、
社会全体で「有徳の人」づくりに取り組むため、ここに「有徳の人」づくり宣言をします。

- 学問、スポーツ、芸術という「文・武・芸」それぞれの分野で、一人一人の能力を伸ばす教育を実現していきます。
- 幼児教育から学校、社会での学びなど、子どもから大人まで人生のそれぞれのライフステージや地域の実情に応じた、多彩な学びの場の充実を図る「縦の接続」を推進していきます。
- 親から子へ、大人から子どもへ世代を超えて、地域の文化や伝統を継承するなど「地域の子どもは地域の大人が育てる」という意識の下、全ての大人が子どもたちの模範となり、家庭、学校、地域、職場などがそれぞれの役割を果たし、互いに学びを支え合う「横の連携」による教育を社会総がかりで進めていきます。

- 自らの資質・能力を伸ばし、個人として自立した人
- 多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にする人
- 社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人

個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し、行動する人を徳のある人、すなわち「有徳の人」と捉え、「ふじのくに」の未来を担う「有徳の人」の育成を進めていきます。

「有徳の人」とは…

「有徳の人」づくり宣言

教育における地方創生を実現し、気品をたたえ、調和した人格を持ち、また、「富士」の字義にふさわしい物と心の豊かさをともに実現する「有徳の人」を育成するため、

- 一、「文・武・芸」三道の鼎立を実現します。
- 一、生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境を実現します。
- 一、地域ぐるみ、社会総がかりの教育を実現します。

「有徳の人」づくりを推進していきます

県では、「有徳の人」づくりを進めるための「重点取組方針」を定め、本大綱の期間中、積極的に取り組んでいくこととしました。その方針に沿って、今年度展開する事業の一部をご紹介します。

重点取組方針

「有徳の人」づくりのため特に重要な次の事項について、県と県教育委員会が一体となって取り組んでいきます。

- 「確かな学力」の育成
子どもたちの主体的な学習態度を育成し、基礎的、基本的な知識・技能の習得とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等の育成を図ります。
- 教職員及び高校生
の国際化の推進
グローバル人材の育成のため、指導者の国際化を進め、より広い視野を持った教職員を養成するとともに、全ての高校生が卒業時まで、海外渡航等を経験できるように取組を進めます。

- 「新しい実学」の奨励
一人一人の能力や適性、意欲に応じた多様な柔軟な教育を、特に義務教育修了後においてより一層展開するため、農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツなどの分野で若者の才能を伸ばす実践的な学問としての「新しい実学」を奨励します。
- 「命を守る教育」の推進
家庭、学校、地域、行政の連携による防災、防犯、交通安全の取組や知識の習得を進めるとともに、子どもたちが自ら危険を予測し回避できる力を育成する「命を守る教育」を推進します。

- 「命を守る教育」の推進
家庭、学校、地域、行政の連携による防災、防犯、交通安全の取組や知識の習得を進めるとともに、子どもたちが自ら危険を予測し回避できる力を育成する「命を守る教育」を推進します。

- 「命を守る教育」の推進
家庭、学校、地域、行政の連携による防災、防犯、交通安全の取組や知識の習得を進めるとともに、子どもたちが自ら危険を予測し回避できる力を育成する「命を守る教育」を推進します。

- 「新しい実学」の奨励
一人一人の能力や適性、意欲に応じた多様な柔軟な教育を、特に義務教育修了後においてより一層展開するため、農林水産業、工業、商業、芸術、スポーツなどの分野で若者の才能を伸ばす実践的な学問としての「新しい実学」を奨励します。

- 「命を守る教育」の推進
家庭、学校、地域、行政の連携による防災、防犯、交通安全の取組や知識の習得を進めるとともに、子どもたちが自ら危険を予測し回避できる力を育成する「命を守る教育」を推進します。

- 「命を守る教育」の推進
家庭、学校、地域、行政の連携による防災、防犯、交通安全の取組や知識の習得を進めるとともに、子どもたちが自ら危険を予測し回避できる力を育成する「命を守る教育」を推進します。

問 県総合教育課 054(221)3764

「帰りの会」で学級づくり!

浜松市立引佐南部中学校 教諭 平野尚美



著者

帰りの会は、学級担任が自由に創意工夫して学級づくりができる大切な時間です。本校の帰りの会は15分ですが「ちりも積もれば山となる」で、1年間で50時間にもなります。計画的に活用すれば、これほど有効な時間はありません。

帰りの会
1 1日の反省と明日の時間割
2 係からのお知らせ
3 班の反省…Ⅰ
4 1分間スピーチ…Ⅱ
5 三役の話
6 学級の歌
※水曜日「ちよっとレク」…Ⅲ
7 先生の話

学級づくりの柱を決める

2年生担任時の実践を紹介します。まず、4月に出会った生徒を、1年後にどのような姿に成長させたいかを考え、目指す学級の姿を決めます。このとき私が考えた目指す学級の姿は、「自治能力のある学級」であり、それを達成するため①係活動の活発化②目標設定と振り返りの充実③認め合える人間関係づくりという3つの柱を立てました。

実践する活動を考える

次に、学級づくりの柱

実践・評価するために帰りの会で行う具体的な活動を考えます。その際こだわったポイントは、①短時間で簡単②リラックサしてちよっと楽しい③脱マンネリ化です。ここでは実際に行った3つの活動を紹介します。

Ⅰ 短時間の振り返り

この活動では、決まったテーマでスピーチをすることから始め、その後は、空想の物語を考え毎日つなげていく「つながらる物語」や、自分の大切な物を見せながらその物への思いを語る「私の一品」など生徒が飽きないような内容や形式を変えて行うようにしました。スピーチが終わると、学級の全員が感想や応援メッセージをカードに書いて発表者に渡します。生徒たちにとっては、普段の学校生活では分からない友達の意外な一面や人柄を知ることができただけでなく、自分が発表者となったときに寄せられる友達からのメッセージに喜び、励まされ、学級のみんなから認められている



班の反省の様子

らに班ごとの得点をグラフにして掲示したことで、目標達成への意欲が高まりました。

Ⅱ 1分間スピーチ

この活動では、決まったテーマでスピーチをすることから始め、その後は、空想の物語を考え毎日つなげていく「つながらる物語」や、自分の大切な物を見せながらその物への思いを語る「私の一品」など生徒が飽きないような内容や形式を変えて行うようにしました。スピーチが終わると、学級の全員が感想や応援メッセージをカードに書いて発表者に渡します。生徒たちにとっては、普段の学校生活では分からない友達の意外な一面や人柄を知ることができただけでなく、自分が発表者となったときに寄せられる友達からのメッセージに喜び、励まされ、学級のみんなから認められている



ちよっとレクの様子

たかが15分されど

帰りの会で3つの柱を実践・評価したことにより、1年間ぶれることなく学級づくりに取り組むことができたと感じています。その効果は、学級の他の場面にも波及し、最終的には、自分たちでいじめをなくそうという話し合いや取組が行われ、自治能力の向上へつながりました。

帰りの会を工夫する余地はまだあると感じているので、今後も新しいことに挑戦したいと思っています。たかが15分、されど15分です。



1分間スピーチ メッセージカード

ICT機器による授業改善への取組

葦山高等学校 教諭 藤田尚史



著者

「Make pairs. Discuss the question with your partner.」

教師が一方的に英語で話して終わるのではなく、生徒が主体的に英語で活動する授業を私は大切にしています。学習指導要領では「英語の授業は英語で行うことを基本とする」とされ、オールイングリッシュで行う授業に取り組んでいます。コミュニケーション重視の英語教育へと時代が変化している中、悩みながらも少しずつ自分の授業スタイルをその変化に合わせて変えてきました。今回

最初に行ったのは、CDラジカセを片手で持ち運べる高出力のスピーカーに変えることでした。これで教室への持ち運びがとても楽になりました。次にどのように音声流すかを考え、iPadを導入了。iPadの操作で音声を流すことができるようになります。毎回CDを準備する必要や、使い終わったCDを捨てる無駄もなくなりました。

ICT機器導入のハードルは高くない

このようにして教室の環境(ハード面)を変えたことにより、授業内容(ソフト面)も変わってきました。例えば、プロジェクトから黒板に写し出す文字を白くし、背景を黒くすればスクリーンがなくても十分に見えます。何より直接黒板に説明や質問の答えを書き込むことができます。注目させたい部分は画面をピンチアウト(拡大)して大きくすることができ、より明確に生徒に示すことができるのです。



生徒の主体的な活動をうながす



高出力のスピーカー・iPad・プロジェクター

工夫を凝らしていくうちに新しいアイデアが浮かびます。次はプロジェクトを取り入れた授業にしてみました。「ICT機器を使った授業なんて、教室には電子黒板や備え付けのプロジェクトがないからできない」と思いがちですが、一度始めてみると決して高いハードルではないことに気がきました。

ハード面の変化によるソフト面の変容

今年度はソフト面をさらに充実させるべく、昨年度行われた英語教育推進リーダー研修で学んだ活動を取り入れます。英語の4技能(読む、聞く、書く、話す)それぞれに係る活動において、生徒に自己関連性を持たせるような発問の工夫や、パフォーマンステストの充実とその評価方法を課題とし、前に進みたいと思います。

Get a step ahead! 一歩踏み出そう

今年度はソフト面をさらに充実させるべく、昨年度行われた英語教育推進リーダー研修で学んだ活動を取り入れます。英語の4技能(読む、聞く、書く、話す)それぞれに係る活動において、生徒に自己関連性を持たせるような発問の工夫や、パフォーマンステストの充実とその評価方法を課題とし、前に進みたいと思います。



プロジェクターから黒板に写し出す



シアタースクール2015「星の王子さま」より

演劇で新しい自分に出会う夏
SPACシアター
スクール参加者募集

SPAC 静岡県舞台芸術センターでは、専属劇団による創造・公演とともに様々な人材育成・支援活動を行っています。その一つである「シアタースクール」は、学校では触れることのできない演劇の面白さ、奥深さを知ってもらうことを目的として、2007年にスタートしました。

県内全域から参加者を募集し、SPAC俳優による指導の下、「舞台に立つためのからだづくり」を学び、公演に臨みます。ぜひ今年の夏休みは、皆さんの個性あふれるエネルギーを舞台の上で発揮してください!

参加期間 7月2日(土)～8月21日(日)
発表会 8月20日(土)、21日(日)
会場 静岡芸術劇場
応募資格 中学校1年生から高校2年生までの方
応募締切 6月11日(土) (必着)
SPAC 静岡県舞台芸術センター
054(203)5730

「ふじのくにジュニア防災士」になろう ~自分たちの地域は自分たちで守る~

4月14日と16日に最大震度7を記録した「熊本地震」では、多くの方々が避難所生活を強いられる中、地元の高校生が積極的に救援物資の配布・運搬を行うなど、避難所の中で大きな役割を果たす姿が見られました。大規模な災害が発生したとき、若い世代の活躍は地域の人々を勇気づけます。静岡県でも、新たな地域防災の担い手の育成が求められる中、注目されているのが「ふじのくにジュニア防災士」です。

「ふじのくにジュニア防災士」とは

「ふじのくにジュニア防災士」とは、防災の知識があつて、大規模な災害が発生したときに、地域の方々と一緒に防災活動を行うことができる力を持っていることを県(知事)が認証した小学生、中学生、高校生のことです。「ふじのくにジュニア防災士」として認証されるためには、「ふじのくにジュニア防災士養成講座」の受講と、地域で行われる防災訓練への参加が必要です。

学校で「ふじのくにジュニア防災士養成講座」を開催してみませんか

「ふじのくにジュニア防災士養成講座」では、防災の知識を学習する「講義」と、より実践的なスキルを身につける「演習」を行います。学校などでこの講座を開催する場合は、県危機管理部危機情報課までお申し込みください。県職員をはじめとする防災の専門家を講師として学校へ派遣し、地域の災害の特性や子どもたちの発達段階に応じて、最も適した内容を提案します。また、部活動や生徒会といった、グループ単位での申し込みについても可能な限り対応しますのでお気軽にお問い合わせください。

○各学校での「ふじのくにジュニア防災士養成講座」開催例

| | |
|----------|--|
| 県立科学技術高校 | 2年生の都市基盤工学科を対象に、主に土木技術者をめざす生徒の防災に関する基礎知識の授業(実習)として実施 |
| 県立駿河総合高校 | 3年生のリビングデザイン授業選択者を対象に授業として実施 |
| 県立御殿場高校 | 2・3年生の情報デザイン科を対象に、生徒の防災に関する基礎知識の授業を実施 |



科学技術高校



駿河総合高校



御殿場高校

東日本大震災以降、県教育委員会は県危機管理部と連携しながら、防災教育の手法を開発してきました。子どもたちはもちろん、先生方が防災教育のノウハウを学ぶためにも、多くの学校からのお申し込みをお待ちしています。

問 危機情報課 ☎054(221)2459

チェックシートの活用で学校図書館機能の充実を!

子どもの読書活動を支える上で、学校図書館の果たす役割はとても重要です。学校図書館の機能を強化するために、何が必要でしょうか。県教育委員会では、各学校において自校の学校図書館を分析、評価し、その機能の充実を図ること

を目的に、「学校図書館チェックシート」を作成し、配布しています。チェックシートは「体制整備」「物的整備」「人的整備」「読書活動の啓発」の4分野、計22のチェック項目で構成されており、学校図書館の現状を自己評価できる内容となっております。

また、チェックシートに付属する目標設定シートを活用することにより、学校図書館機能の改善に学校全体で取り組むことができます。

〈チェックシートの例〉

| | | |
|----------|---------------------------|-------------------------|
| ○体制整備 | 1「学校図書館構想図」の作成 | 作成済 |
| | 作成していない | |
| ○読書活動の啓発 | 22 静岡県読書ガイドブック「本とともだち」の活用 | |
| | 児童生徒に配布しただけ | 授業や学校図書館利用の際等に、1回以上活用した |
| | | 授業や学校図書館利用の際等に、2回以上活用した |

問 社会教育課 ☎054(221)3162

「進路相談」と「体験入学」について (特別支援学校高等部へ進学を希望する方へ)

特別支援学校の高等部は、高等学校と同じように入学に際して募集定員があります。募集定員は、各特別支援学校が実施する中学校や特別支援学校中学部の3年生を対象とした「進路相談」や「体験入学」の結果を踏まえ、県教育委員会で年ごとに策定しています。

「進路相談」や「体験入学」は、高等部の入学に係る募集定員に影響を与えるだけでなく、それぞれの生徒にとって特別支援学校高等部での教育が最も適しているかを考えるとともに、その生徒の将来の希望や持っている力などについて、見つめ直す大切な機会となります。特別支援学校高等部への進学を希望する方は、「進路相談」及び「体験入学」を7月末までに必ず受けてください。

進路相談や体験入学は、在籍する中学校や特別支援学校中学部を通して各特別支援学校に申し込んでください。

高等部進路相談及び体験入学を実施する県立特別支援学校

| 学校名 | 進路相談実施日 | 体験入学実施日 |
|--------|--|---------------------------------|
| 沼津視覚 | 随時実施 | 随時実施 |
| 静岡視覚 | 随時実施 | 随時実施 |
| 浜松視覚 | 6/22(水) | 随時実施 |
| 沼津聴覚 | 6/15(水) | 同左 |
| 御殿場 | 6/8(水),10(金),14(火),21(火) | 同左 |
| 沼津 | 6/8(水),17(金),20(月),22(水),24(金) | 同左 |
| 伊豆田方分校 | 6/13(月),16(木),21(火),23(木) | 同左 |
| 愛鷹分校 | 6/13(月),17(金),20(月),24(金) | 同左 |
| 富士 | 6/2(木),7(火),9(木)~14(火)*土日を除く予備日:6/16(木),17(金)*希望者多数の場合 | 同左 |
| 富士宮分校 | 6/13(月),15(水),16(木),20(月),22(水) | 同左 |
| 清水 | 6/1(水),3(金),15(水),17(金),22(水) | 同左 |
| 静岡北 | 5/31(火),6/1(水),2(木),7(火)~9(木)以降7月末まで随時実施 | 同左 |
| 南の丘分校 | 随時実施 | 5/30(月)~6/2(木)予備日:6/15(水),17(金) |
| 藤枝 | 6/20(月)~22(水) | 同左 |
| 焼津分校 | 6/24(金),27(月),29(水) | 同左 |
| 吉田 | 6/15(水)~17(金) | 同左 |
| 掛川 | 6/1(水)~24(金) *土日を除く | 5/25(水) |
| 御前崎分校 | 6/20(月)~7/1(金) *土日を除く *日程は相談の上、個別に対応する。 | 進路説明会5/23(月)*体験入学は随時実施 |
| 袋井 | 6/1(水)~30(木)*土日を除く | 学校見学会5/27(金)*体験入学は随時実施 |
| 磐田見付分校 | 6/7(火)~30(木)*土日を除く | 5/19(木) |
| 浜松 | 6/13(月)~7/6(水)*土日を除く | 6/7(火),10(金) |
| 城北分校 | 5/16(月)~18(水),23(月)~27(金) | 学校説明会5/6(金) |
| 浜北 | 5/25(水),27(金) | 同左 |
| 浜名 | 6/6(月) *以降随時実施 | 同左 |
| 東部 | 6/14(火) *申込締切5/27(金) | 同左 |
| 伊豆高原分校 | 5/25(水),26(木) 対象:中学校 6/1(水) 対象:特別支援学校中学部 | 同左 |
| 伊豆松崎分校 | 随時実施 | 6/15(水) |
| 中央 | 6/1(水) *その他随時実施 | 本校生徒は6/15(水)その他は6/16(木) |
| 西部 | 5/30(月) | 随時実施 |
| 天竜 | 6/21(火) *その他随時実施 | 随時実施 |

【特別支援教育課】

社会教育主事とは

めまぐるしく変化する社会環境において、学校と地域が連携・協働し、子どもたちの教育活動等を一層充実させていくことが求められています。また、その教育活動が、地域の学びとなり、地域を豊かにしてくれまます。そこで必要とされる役割を担います。

また、社会教育法第9条の3にその職務が規定されており、都道府県・

市町村教育委員会の事務局に置くことが義務付けられています。

本年度の受講機会は2回あり、講習(B)では、可能ですが、複数年に分けての受講も可能です。

「社会教育主事」は、学習活動等を通じた住民の社会教育活動の支援、地域の教育資源の発掘や活用等、地域の活性化を図る役割を担います。

また、社会教育法第9条の3にその職務が規定されており、都道府県・

市町村教育委員会の事務局に置くことが義務付けられています。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

「社会教育主事」は、学習活動等を通じた住民の社会教育活動の支援、地域の教育資源の発掘や活用等、地域の活性化を図る役割を担います。

また、社会教育法第9条の3にその職務が規定されており、都道府県・

市町村教育委員会の事務局に置くことが義務付けられています。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

また、社会教育法第9条の3にその職務が規定されており、都道府県・

市町村教育委員会の事務局に置くことが義務付けられています。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

また、社会教育法第9条の3にその職務が規定されており、都道府県・

市町村教育委員会の事務局に置くことが義務付けられています。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

また、社会教育法第9条の3にその職務が規定されており、都道府県・

市町村教育委員会の事務局に置くことが義務付けられています。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

本講習で、社会教育について学び、学校と地域の「つなぎ役」になってみませんか。

総合教育センター
ふなびん Angle
教職員を支援するために
～研修の充実に向けて～

県総合教育センターでは、研修の目的や目標を達成するために、様々な工夫をして研修を行っています。また、教育現場のニーズに合わせて、実践的な内容を含めたりして、教職員の資質向上につながるよう取り組んでいます。

今回は、センター研修の工夫について紹介します。

目的・目標の確認と振り返り

研修の始めに、指導主事から研修員に、研修の目的や目標を説明します。研修員に理解してもらおうと、研修の目的や目標を、期待します。

また、振り返りを大切に扱います。研修員が研修の目的や目標に向かって学ぶ事ができ、研修で学んだ事を今後生かせるように、研修内容を自分の事として捉える時間を確保しています。

アクティブ・ラーニング型研修への挑戦

研修では、講演・講義に加えて、研修員がグループで話し合う等、研修員同士の活動で学びを深める「アクティブ・ラーニング型研修」に力を入

れています。模擬授業の実践、授業実践のDVD活用、事例紹介、レゴブロックの活用等様々な工夫をしています。

「アクティブ・ラーニング型研修」については、平成27年12月の中央教育審議会の答申の中で説明されています。研修員がアクティブ・ラーニング型研修の良さについて実感し、理解を深め、その効果を実際の授業に生かしながら、子どもたちの深い学びにつながることを期待します。

研修におけるweb活用

研修では、eラーニングやセンターホームページ掲載の教育資料も活用しています。事前学習をして、研修に参加してもらうことで、研修内容の理解を深めています。

研究から研修へ

研修の中には、「不登校対応におけるチーム支援コーディネートの在り方」推進者養成講座(新規研修)や「ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業」のようにセンターの研究成果を取り入れたものもあります。また、ICT活用については、悉皆研修や希望研修の教科指導等の内容に含めています。

センターはこれからも研修の充実に向けて取り組んでいきます。ぜひ、研修に参加してください。

【総務企画課企画班】

県立中央図書館の資料を県内各地で受け取れます!

県立中央図書館では、平成27年度から先行導入していた「インターネット予約による市町立図書館等受取サービス」の受取館を11館に拡大します。このサービスではインターネットで当館の資料を検索・予約して、以下の受取館で受け取ることができます。毎週火曜日までの予約で、金曜日に受取可能です。

新規受取館インターネット予約開始日

平成28年6月1日(水)から ※発送は6月8日(水)、受取開始は6月10日(金)から(予定)

受取館

【先行導入館(4館)】函南町立図書館、富士宮市立中央図書館、磐田市立中央図書館、浜松市立城北図書館

【新規(7館)】伊東市立伊東図書館、三島市立図書館、沼津市立図書館、富士市立中央図書館、藤枝市立駅南図書館、掛川市立中央図書館、県総合教育センター(あすなろ)図書室

詳しくは県立中央図書館Webサイトをご覧ください。

HP <http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp>

自然生活体験活動参加者募集!

雄大な自然に囲まれた県立青少年教育施設に宿泊し、さまざまな体験活動を通して、自然の豊かさや仲間と協力することの大切さを学びませんか。

| イベント | 開催日 | 定員 | 会場・申込み先 |
|----------------|----------|-----|---|
| 朝霧高原サマーキャンプ | 8/6(土)～ | 42人 | 朝霧野外活動センター 〒418-0101 富士宮市根原1 |
| | 8/14(日) | | |
| チャレンジスクール2016夏 | 8/6(土)～ | 70人 | 焼津青少年の家 〒425-0041 焼津市石津2259-408 |
| | 8/11(木) | | |
| 冒険王国in観音山 | 8/8(月)～ | 80人 | 観音山少年自然の家 〒431-2201 浜松市北区引佐町東久留女木字観音山 |
| | 8/13(土) | | |
| 浜名湖いきいき発見の里 | 8/16(火)～ | 80人 | 三ヶ日青年の家 〒431-1402 浜松市北区三ヶ日町都築523-1 |
| | 8/21(日) | | |

- ◇対象 小・中学生(対象学年は施設により異なる)
- ◇締切 朝霧、観音山・・・5月27日(金)必着
焼津、三ヶ日・・・6月3日(金)必着
(申込み多数の場合は抽選)
- ◇費用 約2～4万円(施設により異なる)
- ※申込書は各学校、各県立青少年教育施設にあります(県教育委員会ホームページからもダウンロード可)。
- ◇申込 申込書を各施設へ郵送してください。
- 問 社会教育課 ☎054(221)3305

あなたの掛けた一言が子どもたちを支えます!
～地域の青少年声掛け運動～

この運動は、地域の子どものために周りの大人の誰もが温かなまなざしを向け、「おはよう」「頑張ってるね」など声を掛け、積極的に関わることにより、子どもたちの健やかな成長を支援していく県民参加型の運動です。

今、声を掛けられた子どもたちは、5年後、10年後には、声を掛ける大人になります。周りの大人が、あいさつや声掛けを行う雰囲気があると、そのことが青少年の心のよりどころになります。

子どもたちの未来をもっと明るいものとするよう、まず大人から声掛けをしていきましょう。



ゆるキャラも協力!



地域の青少年声掛け運動に参加しましょう!

教職員の皆様もぜひ積極的にこの運動へ参加していただくとともに、PTA等を通じて保護者や地域の方々にも参加を呼び掛け、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちを守り育てていきましょう。

詳しくは、各市町教育委員会青少年担当課または県教育委員会社会教育課(☎054(221)3313)へお問い合わせください。

平成28年度県立中央図書館子ども図書研究室講演会
「子どもにも本を」
石井桃子の挑戦
ノンちゃん牧場」
受講者募集!

子ども図書研究室とは子ども図書研究室は「子どもと本を結ぶ活動」に関わる方々を支援することを目的に、平成15年以降に刊行された児童書や絵本のほぼすべてを、研究用として収集しています。研究用図書については原則館内での閲覧となりますが、その中でも「子どもたち」については貸出しもしています。

あまり知られていませんが、戦後、石井さんは友人たちと宮城県栗原市鶴沢で農場建設のために開墾を始めました。この農場での試みは、後の石井さんの活動の原動力になります。「ノンちゃん雲に乗る」の刊行、アメリカの友人との交流、子どもたちへの読み聞かせの実践はすべてここから始まったのです。講演会では、石井桃子さんの戦後の鶴沢での活動を収めたドキュメンタリー映画を上映し、監督の森英男さんに解説をしていただきます。

講演会の御案内

日時 6月21日(火) 午後1時から3時まで

会場 県立中央図書館2階講堂

講師 森英男氏(映像作家、カメラマン)

対象 15歳以上の方(中学生を除く)

定員 200人(先着順・要事前申込み)

入場料 無料

申込 電話、FAX、メールまたは直接当館カウンターにて氏名(ふりがな)、連絡先電話番号、講演会名をお伝えください。

主催 県立中央図書館

共催 静岡県読書見聞かせネットワーク

問 県立中央図書館企画振興課
☎054(262)1246
☎054(264)4268
webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

EDITOR

皆さん、ゴールデンウィークは楽しめましたか?気分転換はできましたか?私もおいしいものをたくさん食べて、飲んで、心も体もリフレッシュすることができました。リフレッシュすることができたので、良かったので、心が心配なのは健康診断です。ゴールデンウィーク中の暴飲暴食のせいで、体に少しお肉が付いてしまいました。今日からランニング再開!ここに宣言させていただきます。私と同じように健康診断が憂鬱な方もいらっしゃいます。ぜひ、私も一緒にリフレッシュしましょう。

「先生方のためのエネルギー環境問題研修会」

2016年8月8日(月) 9:30 静岡ガス本社集合 17:15 静岡駅解散

- 対象 静岡県内の小中高等学校の先生、教職関係者
- 会場 静岡ガス株式会社 (本社 エネリアショールーム静岡 清水エール・エヌ・ジー・袖師基地) ※貸し切りバスで移動
- 【講習】○エネルギー環境教育のポイント エネルギー事情の解説・省エネ体験 ○静岡県環境政策課による支援情報
- 【食育講座とエコ・クッキング】調理を通して環境を考えます(普段はほとんど料理をされてない方でもご参加いただけます)
- 【LNG基地視察】県内唯一の施設で、都市ガスの製造からお届けまでを体感
- 【施設見学】「静岡ガス新本社ビル」など(環境に配慮した構内の施設を見学していただきます)
- 主催:(株)日本教育新聞社 協力:(一社)日本ガス協会、静岡ガス(株)
- 定員:24名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)
- 後援:静岡県教育委員会・静岡市教育委員会

食育やエネルギー環境問題が注目されています。夏休みの研修としてお気軽にご利用ください。(セミナーは無料・交通費はご負担いただけます)
【お問い合わせ】日本教育新聞社 ☎03-5510-7806(吉岡・北村) HPからもお申込みできます。(http://www.kyoiku-gas.com/)



第10回 ウィズガス 全国親子クッキングコンテスト

9/25(日) 県内5会場で地域予選大会
静岡県内の参加親子大募集!

ご応募多数の学校には「学校賞」をご用意しております。応募受付期間 2016年6月19日(日)～9月2日(金) [お問合わせ] 静岡県大会運営事務局 静岡ガス内 ☎054-284-7980 (応募用紙のご希望・お問い合わせはお気軽!) http://www.gas.or.jp/shokuiku/